

利根川氾濫の危険が迫ったときに備えて 広域避難のいつ、どこへ を考えておきましょう

この特集記事は、洪水時の避難行動の啓発を目的に、利根川氾濫域の自治体による合同企画として同時期に発行する広報紙に一斉に掲載しています。

各自の置かれた状況や避難に必要な時間によって、避難を開始するタイミングや避難先は異なります。より安全に避難できる方法を確認し、考えておきましょう。

なぜ?

大雨により利根川が氾濫した場合、**広い範囲に長期間深い浸水が想定**されており、**自宅や浸水域内にとどまることはできません**。

そのため、浸水のおそれがない、市外、町外、居住地域外の地域へ、避難すること（広域避難）が必要です。

いつ?

車で避難を考えている方が多いため、混雑による渋滞の発生が考えられます。

台風の接近や、大雨が降り続くことが予想される場合は、利根川の水位がまだ高くない場合でも、

暗くなる前、雨や風が強まる前に早めの避難

自主避難



どこへ?

浸水のおそれのある市町では公的な避難所の確保を進めていますが、市内、町内の避難所は浸水してしまうところもあり、受け入れることができる人数が限られます。



利根川中流4県境広域避難協議会(板倉町・加須市・古河市・境町・坂東市・館林市・佐野市・気象庁・利根川上流河川事務所)

**利根川の氾濫の危険性が高まったら
ためらわずに**早めに避難****

坂東市は、市内のみでの避難が可能な想定をしておりますが、市外からの避難者が想定されます。

市民の皆さまには、親戚、知人などから避難（分散避難）の受け入れを相談された際には、ご理解ご協力をお願いします。

また、災害時の避難所での避難生活は、他の避難者との共同生活となり、普段どおりとはいかずストレスなどで体調を崩すことも懸念されます。

そうしたことを防ぐためにも

市民の皆さまも親戚、知人宅などに避難する分散避難も考えてみましょう。



防災ラジオで災害に備えましょう

防災ラジオは、交通防災課とさしま窓口センターで有償配付中です。

※停電時は、乾電池で稼働します。

